



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 ヨシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <http://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 菊本 善夫

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,270	4.5	1,288	3.9	1,645	15.4	1,226	67.7
29年3月期第2四半期	14,614	△6.1	1,241	30.1	1,425	△1.9	731	△51.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,875百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △1,250百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	90.34	—
29年3月期第2四半期	53.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	42,466	30,853	68.3	2,135.69
29年3月期	40,560	29,318	67.9	2,028.73

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 28,997百万円 29年3月期 27,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,400	6.1	2,600	6.7	3,200	6.0	2,000	17.8	147.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	13,900,065 株	29年3月期	13,900,065 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	322,439 株	29年3月期	322,176 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,577,797 株	29年3月期2Q	13,709,096 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な企業業績を背景として設備投資、個人消費共、緩やかな回復が続きました。世界経済は、北朝鮮の地政学的リスクや米政権の政策運営等先行き不透明な部分があるものの、総じて堅調に推移しました。

このような状況下、売上高は為替変動に伴う海外子会社の円貨換算額の減少がありましたが、それを上回る国内外での拡販により前年同期比4.5%増の15,270百万円となりました。利益については、中国セグメントで減益となりましたがその他すべてのセグメントで増益となった結果、営業利益は前年同期比3.9%増の1,288百万円、経常利益は前年同期比15.4%増の1,645百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と異なり特別損失の発生がなかったため、前年同期比67.7%増の1,226百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①日本

価格改定による販売単価の下落がありましたが、自動車生産台数の増加に伴い拡販を進め、販売数量が増加した結果、セグメント売上高は前年同期比3.8%増の8,294百万円となりました。セグメント利益は売上の増加及び原材料費、経費の削減努力により、前年同期比38.2%増の515百万円となりました。

②南北アメリカ

アメリカ子会社は概ね横ばいで推移し、メキシコとブラジルの子会社が大きく売上を伸ばした結果、セグメント売上高は前年同期比8.9%増の2,854百万円となりました。セグメント利益は前年同期比8.5%増の284百万円となりました。ブラジル子会社はここ数年の同国経済の低迷が底を打つ形で、前年同期の営業赤字から一転し、営業黒字を確保しました。

③中国

現地通貨ベースでは概ね横ばいで推移したものの、為替変動に伴う円貨換算額の減少のため、セグメント売上高は前年同期比3.3%減の1,965百万円となりました。セグメント利益は原材料費の増加等により、前年同期比42.7%減の175百万円となりました。当セグメントは前年同期比で減収減益となりましたが、当第1四半期連結会計期間と比較して当第2四半期連結会計期間の業績は改善傾向となりました。

④東南アジア／インド

当セグメントに属するタイ、マレーシア、インド、インドネシアの子会社はいずれも堅調に推移し、特にタイとインドが牽引する形でセグメント売上高は前年同期比9.6%増の2,155百万円となりました。セグメント利益は、前年同期に赤字であったインド子会社の収益改善が進んだこと等により、前年同期比11.3%増の314百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、42,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,906百万円増加しました。主な要因は、「長期預金」が180百万円減少したものの、「投資有価証券」が1,211百万円、「有形固定資産」が396百万円、「商品及び製品」が244百万円、「受取手形及び売掛金」が240百万円増加したことによります。

負債は、11,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ371百万円増加しました。主な要因は、「未払法人税等」が196百万円、「未払金」が115百万円、「賞与引当金」が74百万円、「役員退職慰労引当金」が66百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が544百万円、「繰延税金負債」が295百万円増加したことによります。

純資産は、30,853百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,535百万円増加しました。主な要因は、「利益剰余金」が887百万円、「その他有価証券評価差額金」が681百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は7,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により1,131百万円の収入超過となりました。これは、法人税等の支払額527百万円、売上債権の増加額275百万円、たな卸資産の増加額266百万円、持分法による投資利益231百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益1,645百万円、仕入債務の増加額541百万円、減価償却費348百万円等の収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により583百万円の支出超過となりました。これは、有形固定資産の取得による支出581百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により616百万円の支出超過となりました。これは、配当金の支払額339百万円、非支配株主への配当金の支払額248百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,177	8,203
受取手形及び売掛金	6,021	6,262
商品及び製品	1,419	1,664
原材料及び貯蔵品	1,800	1,799
繰延税金資産	198	199
その他	315	278
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	17,913	18,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,867	4,210
機械装置及び運搬具（純額）	1,131	1,119
工具、器具及び備品（純額）	238	213
土地	5,106	5,113
リース資産（純額）	15	11
建設仮勘定	862	950
有形固定資産合計	11,222	11,619
無形固定資産	551	484
投資その他の資産		
投資有価証券	9,736	10,948
保険積立金	578	604
長期預金	338	157
繰延税金資産	2	2
その他	235	286
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	10,872	11,977
固定資産合計	22,646	24,080
資産合計	40,560	42,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,464	4,009
短期借入金	1,703	1,725
リース債務	21	19
未払金	830	714
未払消費税等	48	48
未払法人税等	374	177
賞与引当金	505	431
役員賞与引当金	33	20
その他	862	908
流動負債合計	7,843	8,054
固定負債		
長期借入金	660	621
リース債務	81	73
繰延税金負債	667	963
役員退職慰労引当金	151	84
厚生年金基金解散損失引当金	294	294
退職給付に係る負債	1,293	1,278
長期預り保証金	167	169
資産除去債務	16	16
その他	65	56
固定負債合計	3,397	3,558
負債合計	11,241	11,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,046	4,046
利益剰余金	20,544	21,431
自己株式	△426	△426
株主資本合計	28,413	29,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,594	2,275
為替換算調整勘定	△2,417	△2,546
退職給付に係る調整累計額	△44	△32
その他の包括利益累計額合計	△867	△302
非支配株主持分	1,772	1,856
純資産合計	29,318	30,853
負債純資産合計	40,560	42,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,614	15,270
売上原価	9,842	10,357
売上総利益	4,772	4,912
販売費及び一般管理費	3,531	3,623
営業利益	1,241	1,288
営業外収益		
受取利息	56	47
受取配当金	31	35
為替差益	—	25
持分法による投資利益	291	231
その他	38	40
営業外収益合計	417	380
営業外費用		
支払利息	16	13
為替差損	192	—
その他	23	10
営業外費用合計	233	24
経常利益	1,425	1,645
特別利益		
投資有価証券売却益	36	—
特別利益合計	36	—
特別損失		
固定資産除売却損	33	—
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	294	—
特別損失合計	327	—
税金等調整前四半期純利益	1,134	1,645
法人税等	232	301
四半期純利益	902	1,343
非支配株主に帰属する四半期純利益	170	116
親会社株主に帰属する四半期純利益	731	1,226

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	902	1,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	681
為替換算調整勘定	△1,494	△195
退職給付に係る調整額	15	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△815	34
その他の包括利益合計	△2,153	531
四半期包括利益	△1,250	1,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,100	1,791
非支配株主に係る四半期包括利益	△150	83

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,134	1,645
減価償却費	372	348
のれん償却額	5	4
持分法による投資損益(△は益)	△291	△231
有形固定資産売却損益(△は益)	32	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△90	△74
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	14	△12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△66
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	294	—
受取利息及び受取配当金	△87	△82
支払利息	16	13
売上債権の増減額(△は増加)	△150	△275
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64	△266
仕入債務の増減額(△は減少)	133	541
その他	75	33
小計	1,405	1,578
利息及び配当金の受取額	96	97
利息の支払額	△18	△16
法人税等の支払額	△360	△527
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,123	1,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△88	△47
定期預金の払戻による収入	84	93
投資有価証券の取得による支出	△104	△4
投資有価証券の売却による収入	69	—
有形固定資産の取得による支出	△202	△581
有形固定資産の売却による収入	25	6
無形固定資産の取得による支出	△21	△27
その他	49	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187	△583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△115	△1
長期借入れによる収入	51	101
長期借入金の返済による支出	△115	△116
配当金の支払額	△346	△339
非支配株主への配当金の支払額	△243	△248
自己株式の取得による支出	△375	△0
リース債務の返済による支出	△10	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,154	△616
現金及び現金同等物に係る換算差額	△584	△41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△803	△110
現金及び現金同等物の期首残高	6,780	8,034
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	255	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,232	7,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,992	2,620	2,033	1,967	14,614	—	14,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	439	0	17	13	471	△471	—
計	8,432	2,621	2,050	1,981	15,085	△471	14,614
セグメント利益	373	262	305	282	1,223	17	1,241

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額17百万円のうち主なものは、内部損益取引の調整額が13百万円、未実現損益の消去が9百万円、のれん償却が△5百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,294	2,854	1,965	2,155	15,270	—	15,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	529	2	17	33	584	△584	—
計	8,824	2,857	1,983	2,189	15,854	△584	15,270
セグメント利益	515	284	175	314	1,290	△1	1,288

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△1百万円のうち主なものは、内部損益取引の調整額が8百万円、未実現損益の消去が△4百万円、のれん償却が△4百万円であります。